

# いま、子どもたちに必要なのは「感動体験」

## 令和2年度 静岡県緑の少年団交流集会 猪之頭ウォークラリー 活動レポート

2020.11.28

世界中がコロナ禍に覆われた2020年。パンデミックの底知れない不安が拭えない中で、春先の臨時休校措置以降、静岡県下の子どもたちにとってもストレスの多い日々が続いています。

そんな中、11月28日に公益財団法人静岡県グリーンバンク主催による『緑の少年団交流集会』が開催されました。次代を担う子どもたちが自然と親しみ、守り育てる活動を通じて、地域に根ざした心豊かな人間性を育むことを目的とした『緑の少年団』。各団体の枠を超えた交流・親睦を図るため、例年は2泊3日で行われてきた交流集会ですが、今回はウイルス感染予防対策として所要4時間の日帰りとし、検温・消毒・ソーシャルディスタンスの確保・昼食時を除く活動中のマスクの着用など、「新しい生活様式」に沿った形での実施となりました。また看護師が同行し、子どもや関係者の急な体調の変化にも対応できる態勢をとりました。

### 舞台は美しい清流の里

『富士山の麓で楽しもう！湧水の里をめぐるウォークラリー』と題した今回の舞台は、富士宮市猪之頭地区<sup>いのかしら</sup>。静岡県内でも屈指の清流・芝川の水源地であり、素朴な美しさが魅力の陣馬の滝をはじめ、養鱒場やわさび田など、のどかな景色が広がる海拔約700メートルの集落です。当日は絶好のアウトドア日和で、秋晴れの空のもと、うっすらと雪化粧をまとった富士山も子どもたちを見守ります。また、NPO法人猪之頭振興協議会のみなさんにもご協力いただき、ウォークラリーの各チェックポイントでの催しや横断歩道での誘導など、楽しく安全な運営をサポートしていただきました。

### ウォークラリー開始！

午前9時半、会場となる猪之頭公園に集合した子どもたちは、検温、消毒、受付を済ませてから、開会式に臨みます。慣れない環境のせい、最初こそ少し緊張した面持ちでしたが、スタッフの挨拶や活動の注意点を聞いた後、心と身体をほぐす「アイスブレイクゲーム」で身体を動かしたりジャンケンで遊んだりすると、マスク越しにも見て取れる笑顔が生まれてきました。そしてこれから始まるウォークラリーは、事前の戦略が勝負のカギとなります。3～4名のグループに分かれて、配布された地図を見ながらの作戦会議。各チェックポイントは記号の確認、クイズ、スタッフによるゲームなど、それぞれ異なる課題と配点になっていて、制限時間内にどの順番で回るのかを話し合う子どもたちの表情は真剣そのものでした。昼食のお弁当を受け取ったら、いよいよ出発です。



まずはしっかりと検温と消毒から



ジャンケンゲームでウォーミングアップ



作戦会議中は真剣な表情で意見を交わす



自然豊かな里山をのびのびと歩き回ろう



ひんやり冷たい湧水の水温当てクイズに挑戦中